令 和 5 年 度

事業報告書

社会福祉法人　千尋会

目　　次

○社会福祉法人 千尋会 事業報告
1.　総評 ····· 3

○千尋会 本部企画室····· 3
1.　総括
2.　重点実施事項の取組と成果
3.　地域貢献活動
4.　理事会
5.　評議員会
6.　定款変更の状況
7.　監査の実施
8.　女性の活躍の状況
9.　有給休暇取得率
10.　離職率
11.　就労支援
12.　実習生の受入れ状況
13.　職員の採用、退職の状況及び職員配置状況（令和 5 年 3 月 31 日現在）
14.　防災訓練の実施状況
15.　研修・資格試験等合格者数
16.　申請書類関連(変更届・指定更新・加算等)

○千尋会 食支援室 ····· 19
1.　総括
2.　重点実施事項の取組と成果
3.　誤嚥性肺炎入院年間比率
4.　加算算定状況
5.　CMS 通信
6.　週間献立表
7.　Sognarae　Cofe 報告

○介護老人福祉施設　嬉の里····· 23
1.　総括
2.　重点実施事項の取組と成果
3.　サービス提供実績

○短期入所生活介護事業所 嬉の里　デイシス····· 32
1.　総括
2.　重点実施事項の取組と成果
3.　サービス提供実績

○有料老人ホーム むつみ寮‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 36
1.　総括
2.　重点実施事項の取組と成果
3.　サービス提供実績

○通所介護事業所　嬉の里デイサービスセンター‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 43
1.　総括
2.　重点実施事項の取組と成果
3.　サービス提供実績
4.　行事・レクリエーション

○居宅介護支援事業所　嬉の里‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 47
1.　総括
2.　重点実施事項の取組と成果
3.　サービス提供実績
4.　利用状況

社会福祉法人 千尋会 事業報告

１．総評

施設の基本方針に沿って、本部企画室を中心に採用、育成、定着支援に向け具体的な育成プランを確立しました。また、職員意識アンケートを実施し、仕事のやりがいやワークライフバランスについて意向を把握、分析し働きやすい環境づくりに取り組みました。

第一印象を良くする「あいさつ」「身だしなみ」「雰囲気」「所作・立ち振る舞い」等を身につけるため外部からマナー講師を招き、講習やトレーニングに取り組み、明るく元気なあいさつができる職員が増えました。

地域の高齢者が求めるニーズを分析し、地域ボランティアのサポートを図る目的で田崎グループ職員が中心となり発足した専門職連携ネットワーク活動(はえるん)が地域に浸透し、南風原町から生活支援コーディネーター事業の受託に繋がりました。

次年度は、さらに介護ロボットや見守り支援システムを活用した業務負担軽減の分析を行い、安心安全な介護、テクノロジーを活用した次世代型介護(ICT 化、DX 化、ノーリフティングケア)に向けて取り組みます。また、入退所管理、稼働率管理を徹底し、安定的な経営基盤の強化、維持に向け取り組んでいきます。

以下、各事業所の運営状況について報告します。

社会福祉法人 千尋会 本部企画室

１．総括

「少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少」「働く方のニーズの多様化などの社会情勢を踏まえ、働く方がその意欲、能力を存分に発揮できるように本部企画室が発足しました。

人材確保・定着に向けて「教育システムの見える化」と「育成体制構築」に取り組みました。

年間を通じてコミュニケーションマナー研修を取り入れ、主任、副主任、業務リーダーなどの育成を担う職員を対象に、求める資質能力と指導サポート力向上に取り組みました。研修では、積み重ねを意識できるように連続的研修を開催し、活発安定な組織体制の土台固めを目標に、全員が同じ方向にむかえるよう努めました。

また、業務効率化に向けた企画の立案、SNS を活用し情報を発信。他にも地域に根差した施設を目指し活動に取り組みました。

２．重点実施事項の取組と成果

（１） 人材の確保・定着に向けた働きやすい環境づくり

① ワンチームプロジェクト

- 離職者が続き各部署でのシフト調整が厳しい状況の中、在籍している職員がダブルワーク的な考えで、自身の休日に他部署（ユニット）の応援勤務をする。職員皆が“お互い様”の気持ちで行うことで人事交流につなげた。また、気づきと発想で業務改善につながった。

② Happy to return （ハッピーターンプロジェクト）

- 令和 5 年 9 月より実施　職員獲得のため、在職している職員が友人・知人紹介として紹介手当を支給。また、以前勤めていた職員が戻って来やすいよう発信。紹介手当も 3 万から 6 万（パート 18,000 円から 36,000 円）と増額した。
- 成果→1 名

③　リフレッシュ休暇→ちょいと休暇

- 毎年リフレッシュ休暇として 3 日間支給されているが、多くの職員が利用し、働きやすいよう 1 時間単位で取得できるようにした。ちょいと休暇、略して『ちょい休』と馴染めるような名称に変更。

④　職員アンケートの実施

- 職員が充実し働けるよう意識調査を行い研修や企画・アイディアに活かした。
  - ✓ 新人教育の現場での指導法の発信
  - ✓ 休憩室「Relapo」整備
  - ✓ コミュニケーションマナートレーニング研修内容調整
  - ✓ 駐車場整備
  - ✓ 時間休（ちょい休）

⑤　職員紹介・謝礼手当の増額求人誌の掲載、ハローワークでの企業説明、紹介業者も

- 依頼したが職員獲得に繋がらなかったため、職員の紹介料や入職する職員への祝い金を企画。職員へ紹介料や祝い金を手厚くし職員獲得につながった。
  成果→入職謝礼手当　9 名　職員紹介手当　4 名

⑥　功績手当支給条件変更　（次年度より変更）

- 各部署の目標設定を明確にし、頑張りが評価に繋がり職員のモチベーションがアップできるよう、功績手当の支給条件を変更

⑦　給与明細記載表示調整提案　（次年度より変更）

- 給与明細で『その他』に含まれる手当が多いため、福利厚生と施設側の思いを見える化し職員のモチベーションにつなげる。

⑧　部署目標シート変更　※別添資料

- 目標を立て、取り組み、課題、評価までの流れが一目でわかるよう様式変更。
- 前年度の課題から具体的な行動目標を示し職員や部署の向上心につなげる。

年度目標・評価シート

千尋会 理念

1. 敬愛「私たちは、敬愛に基づいたケアを行います」
2. 自立支援「私たちは、専門の知識、技術に基づいた自立支援を行います」
3. 地域福祉の推進「私たちは、地域と連携し地域福祉の推進に努めます」

目標作成日：

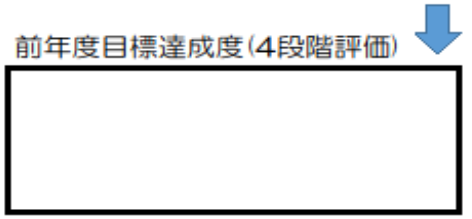
部署名：

ユニット名：

前年度の取り組みと成果

前年度の課題・ニーズ

今年度の具体的な取り組み内容



前年度目標達成度(4段階評価)

今年度部署(ユニット)目標

社会福祉法人 千尋会

⑨　ニーズに応じた事業展開（レンタルスペース）

- 地域拠点として、福祉・医療や環境・健康に関する啓発活動や講習会、研修、会議、趣味活動の場として、地域の皆さまが世代を問わず共生、交流の場となることを目指す。

⑩　事業報告様式変更

- 運営方針や各部署の目標に基づいた取組みが報告できるよう様式を変更した。

⑪　ホームページから入所申込書のダウンロード対応バナー追加

- 来所せずに入居の申し込みができるよう、ホームページから入所申し込み書がダウンロード出来るようにバナーに追加した。

⑫　ハローワーク求人情報更新

- 本部企画室へ担当を移行し、記載情報を工夫。インパクトのある表現などに変更し情報も多く掲載した。

⑬　LINE 導入

- 案内文書、業務効率化及びペーパーレス化に向け、家族への登録を呼びかけ。実施した。

３．地域貢献活動

（１）　専門職連携ネットワークはえるんの取り組み

- 住み慣れたまちで楽しく安心して暮らせるように、専門職が地域に出向き健康維持のサポートを行っています。

①　第 2 回シニアライフアップ講座　学びてぃあ　開催（R5 年 8 月 25 日）

- 各地域から 18 名の方が参加し、専門職による出前講座を体験。

②　福祉学習　車いす体験　翔南小学校 3 年生　（R6 年 1 月 18 日）

- 各地域から 18 名の方が参加し、専門職による出前講座を体験。

③　地域サポート協力事業所

- ✓　南風原町地域包括支援センター
- ✓　南風原町社会福祉協議会サマリヤ人病院　大名の丘
- ✓　老人保健施設 嬉野の園
- ✓　社会福祉法人 千尋会

（２） 出前講座　南風原町内の公民館　　24 件（10 地域）

月	地域	内容	担当
4	北丘ハイツ　階の会	自分で出来るハンドケア レッスン	當銘美麗
5	宮平なーでーらの会	脳トレ　レク	嬉野の園（砂川・豊見山）
6	山川　あみの会	健康体操	嬉野の園（砂川）
7	神里　ゆうなの会	笑いヨガ	大名の丘（島袋）
8	北丘ハイツ　階の会	健康レク（盆踊り練習）	千尋会（市川・知念）
	宮平なーでーらの会	健康ゲーム レクで楽しもう	嬉野の園（砂川・小嶺）
9	山川　あみの会	棒体操　脳トレ	千尋会（石川・知念・市川）
	宮平なーでーらの会	笑いヨガ	大名の丘（島袋）
	兼城ゆいまーる会	健康体操	嬉野の園（小嶺）
10	北丘ハイツ　階の会	笑いヨガ	大名の丘（島袋）
	与那覇　うらしま	健康体操　脳トレ	嬉野の園（砂川・豊見山）
	兼本ハイツ　フレンドの会	笑いヨガ	大名の丘（島袋）
11	がじゅまるの家	健康体操 （体力・筋力維持）	嬉野の園（砂川）
	照屋てぃーだの会	健康体操	久場先生　千尋会（知念）
	津嘉山てぃがねーの会	寸劇　笑いヨガ	包括、社協、大名の丘、 サマリヤ人病院、嬉野の園
	山川　あみの会	笑いヨガ	大名の丘（島袋）
12	兼本ハイツフレンドの会	笑いヨガ	大名の丘（島袋）
	北丘ハイツ階の会	お守り作り	千尋会（市川・知念）
R6.1	宮平なーでーらの会	健康講話	嬉野の園（砂川・豊見山）
	兼本ハイツフレンドの会	棒体操　リズム体操	久場先生　千尋会（知念）
	山川　あみの会	健康体操	嬉野の園（砂川・豊見山）
2	兼本ハイツフレンドの会	自分でできるハンドケア レッスン	當銘美麗
	山川　あみの会	レクゲーム	おもと学生
3	兼本ハイツフレンドの会	脳トレ	嬉野の園（砂川）

４．理事会

①　第 134 回 令和 5 年 6 月 12 日(月)

- 第 1 号議案 令和 4 年度 事業報告(案)について
- 第 2 号議案 令和 4 年度 決算報告(案)について
- 第 3 号議案 育児・介護休業等に関する規定変更(案)について
- 第 4 号議案 理事・監事改選(案)について
- 第 5 号議案 定時評議員会招集(案)について

②　第 135 回 令和 5 年 6 月 28 日(水)

- 第 1 号議案 理事長、常務理事の互選(案)について

③　第 136 回 令和 5 年 10 月 30 日(月)

- 第 1 号議案 職務執行の状況報告について
- 第 2 号議案 第一次補正予算(案)について
- 第 3 号議案 規定の変更(案)について
- 第 4 号議案 評議員選任・解任委員の変更(案)について
- 第 5 号議案 第 60 回評議員会招集について

④　第 137 回 令和 6 年 3 月 11 日(月)

- 第 1 号議案 令和 6 年度 事業運営方針(案)について
- 第 2 号議案 令和 5 年度 補正予算(案)について
- 第 3 号議案 令和 6 年度 予算(案)について
- 第 4 号議案 定款・規定の変更(案)について
- 第 5 号議案 引当金の設定(案)について

5. 評議員会

①　第 59 回 令和 5 年 6 月 28 日(水)

- 第 1 号議案 令和 4 年度 事業報告(案)について
- 第 2 号議案 令和 4 年度 決算報告(案)について
- 第 3 号議案 育児・介護休業等に関する規定変更(案)について
- 第 4 号議案 理事・監事改選(案)について

②　第 60 回 令和 5 年 10 月 30 日(月)

- 第 1 号議案 職務執行の状況報告について
- 第 2 号議案 一次補正予算(案)について
- 第 3 号議案 規定の変更(案)について

③　第 61 回 令和 6 年 3 月 25 日(月)

- 第 1 号議案 令和 5 年度補正(案)について
- 第 2 号議案 令和 6 年度事業運営方針(案)について
- 第 3 号議案 令和 6 年度予算(案)について
- 第 4 号議案 定款変更(案)について

６．定款変更の状況

①　あり

- （評議員の報酬等）　評議員の各年度の総額の変更
- （資産の区分）　定期預金 1,000,000 円　追加

７．監査の実施

①　記帳監査……毎月 1 回

②　現金･預金実査…毎月 1 日

③　内部経理監査……令和 5 年 5 月 24 日

④　監事決算監査……令和 5 年 5 月 31 日

８．女性の活躍の状況

（１）リーダー・主任級にある者に占める女性の割合

- 男性:45%
- 女性:55%

（２）管理職に占める女性の割合

- 男性:66.6%
- 女性:33.4%

９．有給休暇取得率

- 男性:58.8%
- 女性:68.8%　合計:63.8%（R5.3.31 時点）

１０．離職率

年 度	令和 4 年度	令和 5 年度
離職率	14.2%	13.0%

１１．就労支援

沖縄県障害者職業センターと連携し、職場体験を経て 2 名就職しました。センターのジョブコーチ支援計画書に沿ってそれぞれの障害に合わせた業務を設定し、定期的な訪問による業務内容の確認、面談等を行っています。また他職員とのコミュニケーション方法なども学び、継続就労を目標に取り組んでいます。

１２．実習生の受入れ状況

（１） 養成校介護実習受け入れ

月	学校名	人数	受入れ期間
5	真和志高校みらい福祉課 3 年	3 名	19 日間
	大庭学園 沖縄福祉保育専門学校 2 年	3 名	25 日間
9	おもと会 沖縄リハビリテーション福祉学院 介護福祉学科 1 年	2 名	10 日間
	おもと会 沖縄リハビリテーション福祉学院 介護福祉学科 2 年	3 名	25 日間
10	真和志高校みらい福祉課 2 年	4 名	10 日間
11	真和志高校みらい福祉課 2 年	4 名	4 日間

（２） 福祉の職場体験(インターンシップ)

月	学校名	人数	受入れ期間
7	南部商業高校 3 年	3 名	3 日間
7	那覇商業高校 2 年	3 名	3 日間
10	開邦中学校 2 年	2 名	3 日間

（３） 教員等免許特例法に基づく「介護等体験」事業

月	学校名	人数	受入れ期間
9	沖縄大学（教職支援センター）	1	5 日間
9	沖縄大学（教職支援センター）	1	5 日間
10	沖縄大学（教職支援センター）	1	5 日間

１３．職員の採用、退職の状況及び職員配置状況（令和５年３月３１日現在）

		施設長	事務長	課長	室長	係長	介護支援専門員（施設）	生活相談員	介護職員	看護職員	管理栄養士	機能訓練指導員	本部企画室	総務職員	介護支援専門員（居宅）	医師	歯科医師	歯科衛生士	その他	計
３月末職員数	正規職員	1	1	1	1	2	2	4	46	8	2	6	1	5	3					81
	嘱託職員															2	1		5	8
	契約社員								28	5								1	9	43
	合計	1	1	1	1	2	2	4	74	13	2	6	1	5	3	2	1		16	135
令和５年度増員	採用						2	3	25	2				1	3				1	37
	異動																		1	1
令和５年度減員	退職						1	1	17	1										20
	異動																			

※ 3/31 退職者は、次年度の減員（退職）とします。

１４．防災訓練の実施状況

（１） 避難訓練実施状況

- 第 1 回:令和 5 年 8 月 29 日(火)14 時 30 分~
  平日昼間の出火を想定。1 階北側厨房より出火し、初期消火から
  入居者の避難と誘導までを行う。

- 第 2 回:令和 6 年 2 月 27 日(火)14 時 30 分~
  平日昼間の出火を想定。1 階南側洗濯場より出火し、初期消火から
  入居者の避難と誘導までを行う。

（２） 地域との防災に関わる連携

- 令和 5 年 10 月 17 日(火)14 時~
  近隣の地区(大名地区)会長を招いて、防災の机上訓練を実施。
  ハザードマップ、想定される災害の確認。

１５．研修・資格試験等合格者数

（１）研修受講状況

日付	研修内容	参加人数
4 月 5 日	感染対策研修	
4 月 13 日	摂食・嚥下体験会	4
5 月 1 日	マナーコミュニケーション研修	15
5 月 11 日	摂食・嚥下体験会	6
6 月 9 日	超高齢化社会で必要とされる栄養管理の知識	1
6 月 21 日	感染対策勉強会	16
7 月 6 日	摂食・嚥下体験会	6
7 月 12 日	甲種防火管理者取得講習	1
7 月 13 日	サイバー犯罪対策研修	1
7 月 13 日	甲種防火管理者取得講習	1
7 月 13 日	サイバー犯罪対策研修	6
7 月 21 日	経口維持加算評価方法と栄養士の関わり	2
7 月 21 日	通所における栄養アセスメント加算について	2
7 月 25 日	眠りスキャン生産向上の取り組み	5
8 月 10 日	摂食・嚥下体験会	6
8 月 14 日	人生観・死生観（グループワーク）	12
8 月 21 日	沖縄県集団指導	4
8 月 22 日	就労パスポート活用セミナー	2
8 月 31 日	虐待防止勉強会	
9 月 2 日	コロナウイルス対策研修	1
9 月 4 日	マナーコミュニケーション研修	17
9 月 12 日	雇用管理総論～介護労働者の勤務・賃金管理～	1
9 月 13 日	摂食・嚥下体験会	4
9 月 21 日	現場に潜む危険に気付く　～KYT の実践～	10
9 月 22 日	現場に潜む危険に気付く　～KYT の実践②～	3

日付	研修内容	参加人数
9 月 29 日	準備は大丈夫、進化する制度に備えよう	1
9 月 29 日	現場に潜む危険に気付く　～KYT の実践③～	3
10 月 3 日	摂食・嚥下体験会	3
10 月 6 日	眠りスキャン見守り支援システム～施設での活用方法と効果～	3
10 月 11 日	雇用管理総論「人が採用でき定着する方法」	1
10 月 16 日	人事・労務管理講座	2
10 月 17 日	令和 5 年南風原町成年後見制度	1
10 月 17 日	人事・労務管理講座	2
11 月 10 日	もしもの最期にどうありたいか？もしばなカード	16
11 月 11 日	県福祉施設研究大会	
10 月 19 日	接遇「おもい」届ける	
10 月 23 日	眠りスキャン勉強会	
10 月 24 日	BCP 机上訓練	
10 月 26 日	②接遇「おもい」届ける	
10 月 30 日	令和 6 年ダブル改定を見据えて	
11 月 8 日	③接遇「おもい」届ける	
11 月 9 日	摂食嚥下体験会	
11 月 9 日	沖縄県高齢者権利擁護研修会	1
11 月 13 日	②令和 6 年ダブル改定を見据えて	
11 月 14 日	③令和 6 年ダブル改定を見据えて	
11 月 16 日	人の育て方、リーダー論	
11 月 22 日	マナーコミュニケーション研修「アサーション」	15
11 月 24 日	①認知症を支える、一体的支援プログラム	3
11 月 24 日	沖縄県主治医意見書研修	2
11 月 24 日	令和 5 年度 第一回栄養士連絡会	1
11 月 24 日	この町であなたらしく暮らすために～もしもの時の話し合い～	2
12 月 4 日	マナーコミュニケーション研修「コラボレーション」	20

日付	研修内容	参加人数
12 月 4 日	第 3 回 社会保険セミナー	1
12 月 8 日	認知症地域づくりシンポジウム「認知症と共生する」	1
12 月 19 日	マナーコミュニケーション研修「一般マナー研修」	11
12 月 19 日	「ヤングケアラーの現状と課題」主任 CM に求められる支援	1
12 月 19 日	第 1 回福祉サービス　「苦情解決セミナー」	2
12 月 26 日	介護ロボット導入支援研修会	1
1 月 15 日	ICT を活用した業務効率化の研修	1
1 月 17 日	交通安全講習会	5
1 月 18 日	アンガーマネジメント （公開講演会）	8
1 月 21 日	地域包括ケア推進コース導入研修	1
1 月 22 日	経営者必見！今後の食事提供を考える次の一手	1
1 月 27 日	介護支援専門員研究大会 in 那覇	1
1 月 29 日	ダブル改定のポイント	10
1 月 30 日	ほのぼの運用状況ヒアリング	15
1 月 31 日	施設内勉強会：認知症	10
1 月 31 日	快眠メソッド	
2 月 1 日	施設内勉強会：口腔ケア	
2 月 2 日	ダブル改定のポイント　見逃し①	10
2 月 6 日	令和 5 年度介護保険集団指導(第 2 回)	
2 月 7 日	現場のカスタマーハラスメント対策を本気で考える	2
2 月 8 日	第 1 回高齢者のターミナルケア	15
2 月 9 日	窓口対応職員研修　～相談から利用までの分析～	12
2 月 21 日	看取り“医療的な関わり”をどこまで行うか	1
2 月 23 日	些細な変化を見落とさないための医学知識	1
2 月 26 日	第 1 回 高齢者のターミナルケア ※見逃し①	
2 月 28 日	第 2 回 高齢者のターミナルケア	
2 月 29 日	口腔ケア勉強会	

日付	研修内容	参加人数
	自立支援総合研修	
	企業・団体地域貢献推進セミナー	2
3 月 6 日	排便サポートチームの取り組み	
3 月 7 日	口腔ケア勉強会(実演習)	11
3 月 7 日	第 2 回苦情解決セミナー研修	
3 月 8 日	高齢者の自立支援と重症化予防※見逃し①	3
3 月 13 日	サイバーセキュリティー勉強会	3
3 月 15 日	ほのぼの運用状況ヒアリング	10
3 月 22 日	指導担当者が知っておきたい指導のポイント	
3 月 22 日	介護現場における生産性向上説明会	

（2）資格試験等合格者数

令和 5 年度	資格名	人数
	介護福祉士	1
	認知症介護基礎研修終了者	7
	介護支援専門員	1
	社会福祉士	2
	喀痰吸引等研修修了者	1

１６．申請書類関連(変更届・指定更新・加算等)

月	事　業　所　名	事　　由	届　出　先
R5 4	介護老人福祉施設 嬉の里	変更届/管理者変更	沖縄県
	嬉の里短期入所生活介護	変更届/管理者変更	沖縄県
	特定有料老人ホームむつみ寮	変更届/管理者変更	沖縄県
	嬉の里デイサービスセンター	変更届/管理者変更	沖縄県
	嬉の里デイサービスセンター	変更届/管理者変更	介護保険広域連合
6	嬉の里デイサービスセンター	変更届/運営規程変更（一部修正）	沖縄県
	嬉の里デイサービスセンター	変更届/運営規程変更（一部修正）	介護保険広域連合
	特定有料老人ホームむつみ寮	変更届/運営規程変更（人員区分変更）	沖縄県
7	嬉の里居宅介護支援事業所	変更届/事務所移動※同施設内	介護保険広域連合
8	介護老人福祉施設 嬉の里	変更届/介護支援専門員変更	沖縄県
9	特定有料老人ホームむつみ寮	変更届/運営規程変更（管理費変更）	沖縄県
	嬉の里デイサービスセンター	変更届/運営規程変更（人員区分変更）	沖縄県
	嬉の里デイサービスセンター	変更届/運営規程変更（人員区分変更）	介護保険広域連合
11	介護老人福祉施設 嬉の里	変更届/介護支援専門員変更	沖縄県
	嬉の里居宅介護支援事業所	変更届/介護支援専門員変更	介護保険広域連合
	嬉の里居宅介護支援事業所	変更届/介護給付算定に係る体制	介護保険広域連合
12	嬉の里デイサービスセンター	指定更新/総合事業	那覇市
R6 1	嬉の里短期入所生活介護	事業休止届※R6.2.1～	沖縄県
	嬉の里デイサービスセンター	指定更新/広域連合指定介護サービス	介護保険広域連合
	嬉の里デイサービスセンター	変更届/運営規程変更（各種体制整備の記載）	沖縄県
3	嬉の里短期入所生活介護	事業再開届※R6.5.1～	沖縄県
	嬉の里短期入所生活介護	指定申請届/介護予防サービス	沖縄県

（1）　その他報告

月	事　業　所　名	事　　由	届　出　先
8	定有料老人ホームむつみ寮	有料老人ホームの運営に係る定期報告	沖縄県
R6 1	介護老人福祉施設 嬉の里	介護情報サービスへの報告	沖縄県
	嬉の里短期入所生活介護	介護情報サービスへの報告	沖縄県
	特定有料老人ホームむつみ寮	介護情報サービスへの報告	沖縄県
	嬉の里デイサービスセンター	介護情報サービスへの報告	沖縄県
3	介護老人福祉施設 嬉の里	医療機能情報提供制度に係る定期報告	医療機関等情報提供システム

嬉の里 食支援室

1. 総括

昨年度に引き続き、今年度も①「誤嚥性肺炎での入院ゼロ」②「情報共有・多職種連携」と大きな2本柱を目標に掲げ安全に食事摂取ができ、生活の中で食事を楽しんで頂けるように多職種で情報共有を行いケアに取り組んできました。2年間の取り組みとして、専門職からの情報発信や指導等を交え、多職種が口腔ケアや嚥下機能に対する認識や重要性について理解しケアに活かせている環境まで整いました。また、年齢と共に体力低下や消化機能の低下が見られてきますが管理栄養士の配置を2名にした事で、早い段階での介入や多職種と情報共有を行い食事支援に活かすことができました。

目標の「誤嚥性肺炎での入院ゼロ」は達成できませんでしたが、情報共有や多職種連携の強化に繋がり口腔ケアや食事介助方法に対する認識が高まりました。

2．重点実施事項の取組と成果

（1） 栄養・健康管理

- 管理栄養士2名配置により、個別での栄養状態の把握・健康管理に取り組みました。
- 食欲不振・飲水量の少ない利用者様の嗜好に沿った食事（水分）の提供により、食欲改善に取り組みました。
- 回想法の効果や栄養・健康の情報を発信する場として、デイサービスの利用者様と一緒に料理教室（月1回）を開催しました。
- 看取りケアでは食事の負担を軽減しながらも、食べたいタイミングで提供できるようご家族様の差し入れも含め調整しました。

（2） 摂食・嚥下体験会（リハビリ職員と合同研修）

- 毎月、介護職員・新職員を対象に摂食・嚥下体験会を開催しました。体験会の主旨として、実際に食事介助される体験により、介助されている方の気持ちを理解して頂く、体験型の勉強会を企画しました。
- 車椅子の不良姿勢や食事介助のペース・スプーンの大きさによる1杯分の分量の違い・水分トロミ粘度の違いなど、実際に食事介助される事で気づきがあり食事介助支援に活かせるように取り組みました。
- また、嚥下機能については言語聴覚士からの説明も行いより深い理解に繋げました。体験会後にはアンケートを行い、次の摂食・嚥下体験会に活かせるように工夫しています。

（3） CMS通信（口腔・嚥下・栄養の情報配信）※別添資料

- 多職種連携で「口腔内細菌がもたらす健康への影響」「免疫力を高める栄養素や簡単メニュー」に取り組み、食支援の報告(CMS通信)を2ヶ月に1度、発行しました。

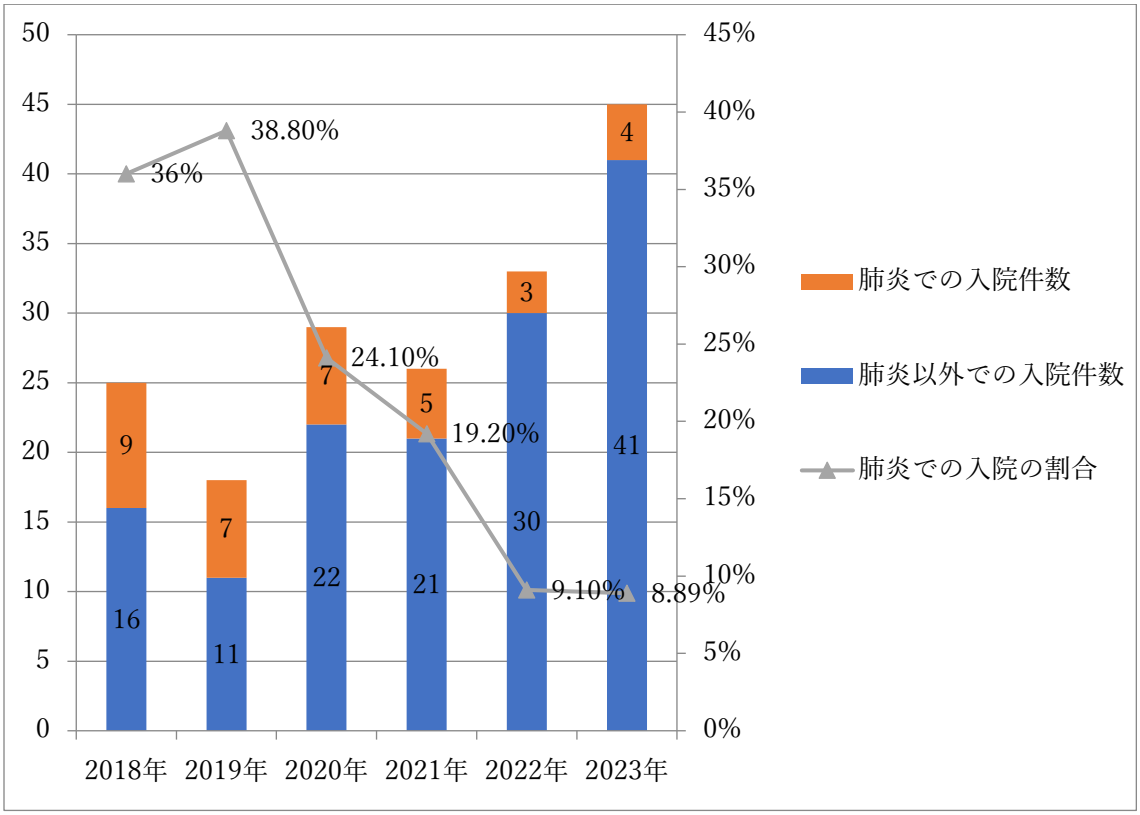
（4） 口腔ケアの実施指導

- 開口困難な方や義歯の洗浄方法など、個人に応じたケア方法を歯科衛生士・言語聴覚士から指導し実際の口腔ケアに活かしました。

（５）　多職種連携

- カンファレンスやミールラウンド等で多職種と情報共有し、個人に沿ったケアを模索しサービス提供できるように取り組みました。
  - ✓ 歯科衛生士：口腔ケア技法や口腔衛生について。その他義歯調整や使用方法など。
  - ✓ 言語聴覚士：嚥下機能や食事量・食事摂取時の姿勢について助言や提案など。
  - ✓ 管理栄養士：体重の推移や摂取量・栄養状態などを踏まえ食事内容の調整など。

（６）　誤嚥性肺炎での入院年間比率



（７）　加算算定状況

（単位：件）

月 / 算定加算	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
治療食加算	4	4	4	4	5	5	5	5	6	7	7	7	63
栄養強化加算	67	68	67	67	67	67	68	69	69	69	69	70	817
経口維持加算	27	28	27	28	27	28	28	29	26	24	22	22	316
（有料）口腔・栄養スクリーニング加算	3	3	5	6	8	2	2	3	6	7	8	4	57

CMS通信

Chihirokai Meal Support

第15号　2024年1月

口腔内細菌がもたらす健康への影響

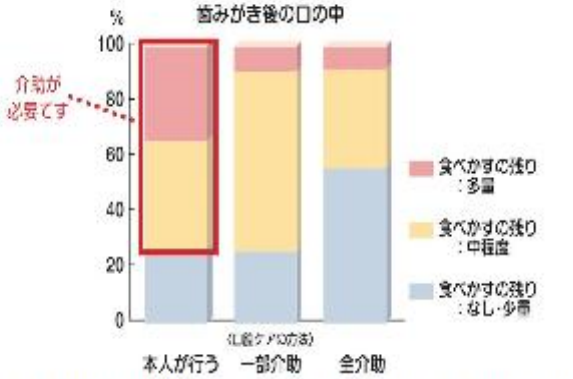
口腔ケアが誤嚥性肺炎の予防になることは皆さんご承知と思いますが、歯周病が生活習慣病などの全身疾患とも関係していることはご存知でしょうか？

左の図のように、歯周病の炎症によって出される毒性物質は、「歯の血管から全身をめぐって動脈硬化や糖尿病等の全身疾患を増悪」させたり、口腔内細菌を含んだ唾液が気管に入ると、「誤嚥性肺炎を起こすリスク」が高まります。

日々の口腔ケアは、歯周病の重症化や全身疾患の増悪を防ぐために、非常に重要です!!

自分で磨けているように見える方も、歯みがき後に口の中を見てみると、食べかすが残り、磨き残しが多くあったりします。右のグラフは、歯みがき後の食べかすの量が介助によってどう減るかを示したものです。

口腔ケアが自分で行える方でも、少し介助をすることで、口の中の清潔が保たれます。



【参考】口腔ケアハンドブック　アサヒグループ食品株式会社

また、ある歯科医師によると「口腔ケアに介助が必要な要介護者は、歯が残っているほど口が汚い…」という話もあります。歯が細菌の温床になり、口腔内細菌を増やす要因にもなるということです。

歯のブラッシング方法や口腔ケアのポイントを知り、効率的に口腔内細菌を減らす口腔ケアを行っていきましょう♪

CMS通信

Chihirokai Meal Support

第16号
2024年3月

コロナ禍を乗り越えて
～食欲不振から改善までの多職種の取り組み～

コロナ陽性となり8日間隔離となったAさん

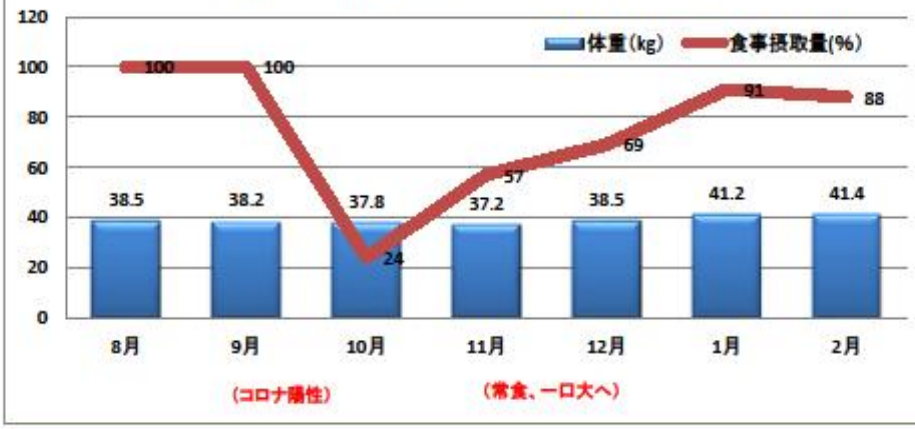
94歳男性

R5.9月コロナ陽性となり、8日間隔離対応となる。隔離期間中に腰痛訴えあり徐々に食事摂取量低下。隔離解除後も居室から出なくなり、生活面での意欲低下もみられるようになる。

問題点：腰痛、意欲低下、急激な食事摂取量の低下

ADL：食事自力摂取、日中トイレ、夜間おむつ対応
入浴、更衣一部介助、車椅子自走可能、意思疎通可能。

R5.8月～R6.2月体重と食事摂取量の推移



【 原因 】
コロナの隔離期間中に居室で長時間寝て過ごされたため腰痛が悪化。それにより食欲の低下や後の意欲低下に繋がっていったと考えられる。

⇒体重減少はみられなかったものの、精神面での落ち込みから日々の生活に影響がでてきていたため、多職種で連携し体調回復に向けた取り組みを実施。

3 March 週間献立表

	令和6年3月25日（月）	令和6年3月26日（火）	令和6年3月27日（水）	令和6年3月28日（木）	令和6年3月29日（金）	令和6年3月30日（土）	令和6年3月31日（日）
☆朝食☆	麦ごはん みそ汁 麩チャンプルー たいみそ 牛乳 エネルギー：502kcal たんぱく質：18.4g 食塩：2.5g	紫芋パン チキンボールと野菜のスープ 牛乳 エネルギー：519kcal たんぱく質：15.3g 食塩：1.8g	麦ごはん みそ汁 人参しりしり 牛乳 エネルギー：497kcal たんぱく質：18.2g 食塩：2.2g	ウムニー みそ汁 野菜とウインナーの炒め物 牛乳 エネルギー：435kcal たんぱく質：15.7g 食塩：2.6g	あんパン ベーコンと野菜のトマトスープ 豆乳 エネルギー：423cal たんぱく質：14.2g 食塩：1.3g	チリビラージューシー みそ汁 大根ウブシー のり佃煮 牛乳 エネルギー：424kcal たんぱく質：17.8g 食塩：2.8g	ゆかりごはん みそ汁 ナスの炒め煮 牛乳 エネルギー：466kcal たんぱく質：14.1g 食塩：2.7g
☆昼食☆	ごはん みそ汁 鶏肉のカレーソテー 付）菜の花ソテー かぶのあんかけ プリン エネルギー：511kcal たんぱく質：24.4g 食塩：3.1g	ワカメごはん 魚汁 野菜かき揚げ フルーツゼリー エネルギー：597kcal たんぱく質：22.9g 食塩：3.1g	麦ごはん みそ汁 肉じゃが いかの酢味噌和え マンゴーゼリー エネルギー：562kcal たんぱく質：19.2g 食塩：3.2g	ゆかりごはん みそ汁 揚げ魚の薬味ソースがけ 白和え オレンジ エネルギー：505kcal たんぱく質：21.9g 食塩：3.5g	ごはん みそ汁 さばのカレー風味ソテー 付）小松菜ソテー 豚肉と野菜の中華炒め バナナ エネルギー：572kcal たんぱく質：19.8g 食塩：2.8g	麦ごはん みそ汁 鶏肉のおろし煮 付）ブロッコリー 野菜炒め フルーツポンチ エネルギー：467kcal たんぱく質：21.8g 食塩：2.9g	ごはん わかめスープ デミグラスハンバーグ 芋とコーンのサラダ 黄桃缶 エネルギー：555kcal たんぱく質：13.2g 食塩：2.2g
❀おやつ❀	常食）大学芋 ミキサー）マッシュ南瓜 ＋げんまい	常食）どら焼き ミキサー）黒糖ムース ＋ヤクルト	常食）ホットケーキ ミキサー）フルーチェ ＋ポカリスエット	プリン ＋コーヒー	常食）野菜蒸しパン ミキサー）フルーチェ ＋くず湯	常食）ヒラヤーチー ミキサー）きな粉ムース ＋生姜紅茶	常食）プリンタルト ミキサー）プリンムース ＋ポカリスエット
☆夕食☆	麦ごはん みそ汁 さばの味噌煮 付）里芋 いんげんソテー エネルギー：522kcal たんぱく質：18.0g 食塩：2.4g	ごはん みそ汁 肉豆腐 ポテトサラダ エネルギー：553kcal たんぱく質：19.6g 食塩：2.1g	ごはん みそ汁 チキンピカタ 付）ブロッコリーソテー ごぼうサラダ エネルギー：462kcal たんぱく質：21.7g 食塩：2.1g	ごはん みそ汁 豚肉と野菜炒め 南瓜含め煮 エネルギー：483kcal たんぱく質：17.5g 食塩：2.4g	麦ごはん みそ汁 麻婆豆腐 黒酢肉団子 エネルギー：519kcal たんぱく質：20.4g 食塩：2.8g	ごはん みそ汁 回鍋肉 コロッケ エネルギー：567kcal たんぱく質：17.9g 食塩：2.3g	麦ごはん すまし汁 赤魚の味噌漬焼き 付）インゲン 千切りイリチー エネルギー：420cal たんぱく質：19.7g 食塩：2.2g

※天候や仕入れ状況により献立の変更もございます。ご了承下さい。

令和5年度

Sognarae　Café　事業報告書

2016年10月1日 OPEN	Sognarae　Café（ソナーレカフェ）　イタリア語で「夢カフェ」 営業時間　月曜日～金曜日　11：30～16：30　　土曜日　11：30～15：00 《スタッフ》　ホームメイドクッキングパン認定講師：1名 ホール担当：1名　管理栄養士：1名
2019年4月～	デイサービスおやつ提供開始 むつみ寮おやつ提供開始 クレープ・焼きドーナツ・どら焼き シフォンケーキ・パウンドケーキ　　等
2020年8月～	新型コロナウィルス感染拡大防止のため、一般客・ご家族様利用を一時中止
2020年8月～	新型コロナ感染拡大防止のため、内部向け営業へ切り替え 利用対象者：千尋会職員のみ
2023年4月～	新型コロナウィルス感染対策緩和によりご家族様利用開始 原材料の高騰により、一般向け販売金額を変更

【販売商品】

＊ドリンク＊

コーヒー
オレンジジュース
アップルジュース
ハーブティー
紅茶

＊日替わり焼き菓子＊

シフォンケーキ（数種類）
クッキー
スコーン

＊日替わりランチ＊

＊気まぐれパン＊

＊トマトパスタ＊

《注文受付中》
ソナーレカフェでは、誕生日ケーキやお土産用の焼き菓子・パンを準備しています。（保存料・防腐剤含まないため消費期限が短くなります。）
＊相談により内容調整できます。

介護老人福祉施設　嬉の里

１．総括

今年度は、ユニット間の協力を積極的に行う事を目標として取り組んできました。
有事発生の際でも、入居者の生活と安全、健康管理が出来るように、配属ユニット以外のユニットの業務の流れを把握しケアを行える応援体制を整えました。
一時は、コロナ禍により活動制限もありましたが、感染対策を徹底しながら、ユニットを超えた活動も再開しました。また、毎月の活動報告を作成し、家族へ入居者の様子を届けました。

２．重点実施事項の取組と成果

（１）サービスの質の向上

① 感染対策や面会制限の中、入居者が施設の暮らしの中で季節を感じられるよう、敬老会の開催や豆まき、ムーチー作り、ユニットの飾りつけなど年中行事を意識した活動を行いました。

② 移乗サポートロボット「Hug」や「移乗リフト」の対象となる入居者をリハビリスタッフと検証し、介護ロボットを活用したケアを取り入れ、入居者、介助者双方にとって負担軽減となりました。「Hug」の使用で入居者への対応が１人でも可能になり、入居者の生活リズムに合わせた支援を行いました。

③　面会再開に向けて、面会希望者の事前体調や、人数などを確認し面会を実施しました。

④ 夜間の見回りで覚醒や起き上がり動作を「眠り SCAN」で確認し、適切な時間に訪室、排せつ介助等を行いました。

（２）職員の資質向上

① 介護ロボット活用の為、勉強会を定期的に開催し「走行式リフト」や「Ｈｕｇ」を体験する事で、介護を受ける側の気持ちを理解しました。また、介護ロボットの活用が有効である事を学び、実際のケアで使用した結果、離床やトイレ誘導などで２人対応の入居者を１人で対応できるようになり、ケアの効率化に繋がりました。

② 施設内での勉強会に積極的に参加し新しい情報や介護技術を習得し、職員の資質向上に努めました。多くの職員が参加できるように勉強会を複数回開催、資料を配布し周知行いました。

（３）地域貢献・地域交流

① 5 月～8 月（計 19 日間）真和志高校みらい福祉科 3 年生 3 名の実習受け入れました。

② 6 月～8 月（計 25 日間）沖縄福祉保育専門学校ヒューマン介護学科２年生の実習受け入れました。

③ 9 月～10 月（計 23 日間）沖縄リハビリテーション福祉学院介護福祉学科 2 年生の実習受け入れました。

（４）感染症対策及び防災対策

① 施設内感染症発生時のマニュアルを常に更新し感染対策を行いました。施設感染症小委員会（週１回）を開催し感染状況確認と対応方法の情報共有と対策の確認を行いました。

② 災害に備え８月、２月に防災訓練を行いました。また、10 月には地域との連携に努めるため、自治会長も参加して頂き、机上訓練を行いました。

③ 感染拡大を防ぐため、ガウンテクニック勉強会を定期的に開催。必要時は適宜、個別指導を行いました。有事発生時は、発生ユニットへの集団指導（再確認中心）も実施しました。

（５）行事

月	行事	備考
５月	母の日祝い	各ユニットで開催しました。
５月	ふるさと訪問	慣れ親しんだ自宅を訪問しました。
５月	外出支援	屋外活動、ドライブで気分転換を実施しました。
６月	父の日祝い	各ユニット父の日を祝いました。
８月	バーベキュー	１階テラスでバーベキューを開催しました。
８月	カラオケ会	ユニットでカラオケ会を開催しました。
１０月	敬老祝い	各ユニットで敬老会を開催しました。
１０月	花火会	屋外テラスで花火を楽しみました。
１１月	カラオケ会	ユニットでカラオケ会を開催しました。
１２月	クリスマス会	ユニットでクリスマス会を開催しました。
１２月	カラオケ会	ユニットでカラオケ会を開催しました。
１月	初詣	ドライブと初詣を行いました。
２月	節分	飾りつけ、豆まきを楽しみました。

※他、毎月の誕生会、おやつ会イベント等を随時開催しています。

３．サービス提供実績

（１）　年間平均実績

- 稼働率　　実績　99%
- 平均介護度　　実績　4.1　(R6.3.31 現在)

項目＼月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
稼働率(%)	97.4	98.6	97.4	100	99.7	99.9	99.7	99.4	99.4	98.4	98.5	99.7	99%
入院日数	84	67	21	47	48	65	61	102	93	68	31	64	62.6
平均介護度	4.1	4.2	4.1	4.1	4.1	4.1	4.2	4.2	4.2	4.1	4.1	4.1	4.1
要介護 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
要介護 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
要介護 3	16	17	17	18	17	15	16	17	18	18	18	19	
要介護 4	32	33	31	33	34	35	34	31	28	28	29	28	
要介護 5	22	20	19	19	19	20	20	21	22	23	23	23	
入所者計（月末）	70	70	67	70	70	70	70	69	69	69	70	69	
新規入所者計	4	2	2	0	0	1	1	2	1	1	3	1	1.5
退所者計	1	3	0	0	1	0	2	1	1	4	0	2	1.2

（２）　加算算定状況

● 算定加算　【共通加算】

加　算
日常生活継続支援加算Ⅱ
看護体制加算Ⅰ
看護体制加算Ⅱ
夜勤職員配置加算Ⅱ
個別機能訓練加算Ⅰ
個別機能訓練加算Ⅱ
栄養マネジメント強化加算
科学的介護推進体制加算Ⅰ
介護職員処遇改善加算Ⅰ
介護職員特定処遇改善加算Ⅱ
介護職員等ベースアップ等支援加算
ADL 維持加算Ⅰ

● 算定加算　【対象者のみ】

加　算
精神科医師的療養指導加算
外泊時費用
自立支援促進加算
口腔衛生管理加算Ⅰ
経口維持加算Ⅰ
経口維持加算Ⅱ
療養食加算
初期加算
安全対策体制加算
看取り介護加算Ⅰ（72 単位/日）
看取り介護加算Ⅰ（144 単位/日）
看取り介護加算Ⅰ（680 単位/日）
看取り介護加算Ⅰ（1280 単位/日）

（３）　年齢構成　(R6.3.31 現在)

	64 歳以下	65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85～89 歳	90～94 歳	95～99 歳	100 歳以上	合計人数	平均年齢
男性	0	1	1	2	3	4	3	1	0	15	84 歳 2 ヵ月
女性	0	0	1	7	4	12	15	10	5	54	90 歳 1 ヵ月
合計	0	1	1	9	7	16	18	11	5	69	88 歳 10 ヵ月

（４）　入居期間　(R6.3.31 現在)

	1 年未満	3 年未満	5 年未満	10 年未満	15 年未満	合計	平均入居期間
男 性	4	5	3	2	1	15	2 年 8 ヵ月
女 性	10	19	11	13	2	55	3 年 7 カ月
合 計	14	24	14	15	3	70	3 年 4 カ月

（５）　日常生活動作状況 (R6.3.31 現在)

日常生活動作		男性	女性	合計
移動手段	独歩・手引き歩行	0	1	1
	杖・歩行器・シルバーカー	1	3	4
	車椅子	12	53	65
食事	自立	6	8	14
	一部介助	2	15	17
	全介助	2	22	24
	経管・胃ろう	3	12	15
排泄	自立	0	0	0
	トイレ使用	1	3	5
	トイレ/おむつ併用	4	8	12
	おむつ使用	10	43	53
入浴	個人浴槽	0	0	0
	特殊浴槽（シャワーチェアー）	6	5	11
	特殊浴槽（ストレッチャー）	8	51	59

（6） 健康管理

項　目	内　容
健康管理	バイタル測定（入浴前、状態変化時、不安定期） 嘱託医指示の医療行為の実施。入退院、受診対応 急変時救急対応、定期薬の分包・管理
健康診断	回診 2 回/週（火曜日・金曜日） 定期検診（3 月・9 月前後 2 回／年）入所時検（必要時）
医学管理	在宅酸素療法、喀痰吸引、点滴、バルーン留置管理 、採血、経管栄養管理、N チューブ交換、処置全般、抗原検査実施
医療機関との連携	主治医・地域連携室との電話等による状況報告、指示による医療処置及び搬送調整
予防接種	新型コロナウイルス予防接種（本年度は 6 回目と 7 回目の実施） インフルエンザ予防接種（10 ～11 月入居者、11～12 月職員）
褥瘡対策	褥瘡発生リスクが高い方については多職種連携しアセスメント必要な予防対策の実施
看取り対応	8 名
緊急時対応	夜間オンコール対応回数：45 回(うち夜間出動回数 18 回)

（7） 受診状況（R6.3.31 現在）

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	129	95	93	108	116	144	95	106	137	146	117	161	1447
整形外科	0	3	1	3	4	3	3	3	3	4	4	4	35
皮膚科	5	1	1	3	3	3	2	2	2	3	2	2	29
歯科	5	5	1	5	6	4	2	5	5	3	2	2	45
泌尿器科	3	1	1	1	2	2	1	1	2	1	1	4	20
脳神経外科	0	0	1	0	2	1	0	2	0	2	1	1	10
精神科	8	7	7	5	7	4	7	1	7	2	4	6	65
その他受診	1	4	0	0	1	1	2	4	4	5	3	5	30
月合計	151	116	105	125	141	162	112	123	159	166	135	189	1684
うち救急車搬送	0	1	0	2	2	2	1	0	3	1	0	1	13

（8） 入院状況（R6.3.31 現在）

	期間	疾患・診断名	入院日数
1	4/6～4/25	尿路感染症・誤嚥性肺炎	18 日
2	3/31～4/7	尿路感染症	6 日
3	4/10～5/15	尿路感染症	33 日

	期間	疾患・診断名	入院日数
4	3/30～4/14	肺炎	14 日
5	4/16～5/10	偽膜性腸炎・誤嚥性肺炎	
6	5/10～5/23	尿路感染症	12 日
7	5/13～6/6	偽膜性腸炎・尿路感染症	22 日
8	6/14～7/4	誤嚥性肺炎	19 日
9	5/15～5/20	胆泥除去手術	4 日
10	7/4～7/24	左上腕骨骨折による手術目的	19 日
11	7/9～7/18	誤嚥性肺炎	8 日
12	7/17～7/28	肺炎・蜂窩織炎	10 日
13	7/24～8/24	重度尿路感染症	30 日
14	8/18～8/24	Spo2 低下	5 日
15	8/19～8/31	尿路感染症・誤嚥性肺炎	11 日
16	8/30～9/15	イレウス	15 日
17	9/5～9/20	尿路感染症敗血症	14 日
18	9/6～9/15	尿路感染症	7 日
19	9/9～9/20	耳下腺炎	10 日
20	9/19～9/31	脳梗塞	11 日
21	9/25～10/10	原因不明の意識消失	14 日
22	9/27～10/13	コロナ感染し状態悪化	16 日
23	9/29～10/16	コロナ感染し状態悪化	16 日
24	10/19～1/17	不穏増強、内服調整目的	89 日
25	10/23～1/10	肺炎・尿路感染症	88 日
26	10/26～11/2	尿路感染症	5 日
27	11/9～12/4	脳梗塞	24 日
28	11/12～12/28	虫垂膿瘍・肺炎・大動脈瘤	45 日
29	11/15～12/11	食思低下にて胃瘻造設	25 日

	期間	疾患・診断名	入院日数
30	12/5～12/29	心不全	23 日
31	12/7～12/27	尿路感染症	23 日
32	12/14～12/26	誤嚥性肺炎	11 日
33	12/25～1/4	低酸素・食思不良	9 日
34	12/15～2/１	膀胱結石・尿路感染症	47 日
35	12/16～1/25	誤嚥性肺炎	39 日
36	12/24～1/16	尿路感染症	22 日
37	1/6～1/17	虫垂癌・肝転移疑い	10 日
38	1/13～1/24	腎盂腎炎・尿路感染症	10 日
39	1/17～1/29	尿路感染症	11 日
40	2/8～３/7	胃瘻造設	27 日
41	2/19～3/18	胸椎圧迫骨折	27 日
42	2/29～入院中	尿路感染症・敗血症	
43	3/4～3/12	ＰＥＧ造設	7 日
44	3/28～入院中	精密検査目的	

※入院日数については入院日、退院日を含まない。

（９）　機能訓練主な訓練内容

生活リハビリ(日常生活動作、家事作業等)マッサージ（ほぐし）
関節可動域訓練（白樺体操他）動作訓練(座位姿勢の調整、座位保持訓練、歩行訓練)
作業療法(手作業）・ 嚥下訓練（口腔体操・発声音楽療法)

今年度は座位姿勢に着目し、リハ内で共有し支援を行いました。

全介助の方が多いため、安楽な座位姿勢、食事動作をより動作を行いやすくするため取り組みに努めました。また入居者と車いす業者を調整し対面相談を行う機会を設けました。

走行式リフトでの移乗や、福祉用具の使用普及のために勉強会を開催し、技術習得、安全使用に向け指導を行いました。事故なく福祉用具使用が出来ました。

短期入所生活介護事業所　デイシス

１．総括

ショートステイでは全室に見守り機器「眠りＳＣＡＮ」を設置し、自宅とは違った環境にあっても事故なく、安全な環境で過ごしてもらえるように努めました。

コロナ禍にありましたが、感染対策留意し、利用者の要望に沿ってショッピングセンターでの買い物支援や、屋外活動（ドライブ）などを実施しました。

連絡帳には、食事量や排泄状況だけではなく、活動に参加している時の写真や、夜間帯の様子を記載し、利用中の様子が家族に伝わるように工夫しました。

デイシスフロア修繕、修復の為、令和６年２月より一時休止しました。

２．重点実施事項の取組と成果

（１）サービスの質の向上

① ショートステイ利用中でも活動性を維持できるよう、体操、レクリエーション、手工芸に力を入れて行いました。を行いました。また、気分転換や意欲向上を図るためドライブや季節のイベントを実施しました。

② 個別ケアを提供できるように見守り支援システム「眠りＳＣＡＮ」を活用し、睡眠状態の把握や状態に応じた訪室、排泄介助を行いました。

③ 「移乗サポートロボットHug」を使用により、介護者や利用者の身体負担軽減に取り組みました。

④ 利用者家族の安心感に繋がるように、写真を活用する等、利用中の活動の様子が伝わる様に工夫しました。

（２）行事

月	行事	備考
７月	夏祭り	
８月	バーベキュー会	
９月	敬老会	デイサービスと合同開催
１２月	クリスマス会	
１月	初詣	
１２月	カラオケ会	ユニットでカラオケ会を開催しました。
１月	初詣	ドライブと初詣を行いました。

※他、毎月の誕生会、おやつ会イベント等を随時開催しています。

３．デイシス短期入所サービス提供実績

（１）　年間実績と平均介護度

- 稼働率実績　70.1%　（R6. 2月～3月除く）
- 平均介護度　3.0　（R6. 2月～3月除く）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
稼働率(%)	80.3	84.2	75.3	66.1	77.1	78.3	78.1	82.0	80.0	69.7	0	0	70.1%
総利用数	249	263	228	211	241	249	260	248	252	230	0	0	2431
要支援1	1	1	1	1	1	1	2	1	0	1	0	0	10
要支援2	1	0	0	0	0	2	1	0	0	2	0	0	6
要介護1	9	9	9	8	7	9	11	12	11	5	0	0	90
要介護2	10	9	9	8	7	11	8	11	10	9	0	0	92
要介護3	7	13	11	8	14	16	17	12	14	13	0	0	125
要介護4	7	6	6	6	6	6	6	9	7	7	0	0	66
要介護5	7	71	6	5	8	5	7	6	6	6	0	0	127
平均介護度	3.2	3.1	3.0	3.1	3.2	3.0	3.0	2.9	3.1	3.3	0	0	3.0
利用者数	42	45	42	36	43	50	52	51	49	43	0	0	37.7

（２）　加算算定状況

● 算定加算　【要介護】

加　算
機能訓練指導体制加算
夜勤職員配置加算Ⅱ
サービス提供体制強化加算Ⅱ
看護体制加算Ⅰ
看護体制加算Ⅱ
介護職員処遇改善加算Ⅰ
介護職員特定処遇改善加算Ⅱ
介護職員等ベースアップ等支援加算

● 算定加算　【要支援】

加　算
機能訓練指導体制加算
サービス提供体制強化加算Ⅱ
介護職員処遇改善加算Ⅰ
介護職員特定処遇改善加算Ⅱ
介護職員等ベースアップ等支援加算

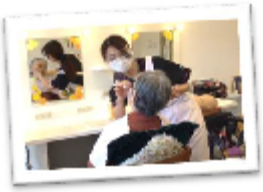
嬉の里ショートステイ

安心の施設設備

在宅生活を支援いたします！

対 象:要支援1
～要介護5
居 室:10部屋
（全部屋個室）

Point!
施設内
カフェ・エステ室あり



Point!
介護ロボット
見守りシステム導入

充実のレク活動

心身機能の維持・向上や
気分転換を目的に行ってます

・外出支援
・手工芸
・健康体操

・脳トレ
・各種ゲーム
・カラオケ　など

専門職チームの安心サポート！

Point! 管理栄養士によるバランスのいい食事提供

Point! 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・歯科衛生士などの多種の専門職を配置

Point! 看護師による体調確認・服薬管理

◎経管栄養/在宅酸素/インスリン注射対応可。ご相談下さい

見学・相談はお気軽にご連絡下さい！

社会福祉法人 千尋会　☎098-888-0591

HP コチラ

居室スペース

ユニット共有スペース

カフェコーナー

お風呂

居室内の洗面台

テラスで
バーベキュー♪

楽

初　詣

外出支援や季節のイベント
を企画しています♪

ドライブ

リフレッシュしながら
《回想法》心身機能の
活性化を図ります。

特定有料老人ホーム むつみ寮

１．総括

基本的な介護技術、接遇などマニュアルにし見える化に努め、職員の質の標準化を目指して取り組みました。また、整理整頓、清潔を意識し、入居者が気持ち良く過ごしてもらえるよう環境面を整備しました。日常生活では、入居者のストレングス（強み）を引き出す為、日頃から楽しみや生活リハビリ(食器洗い、洗濯物たたみ等)を取り入れ自立支援を目的とした生活に努めました。

２．重点実施事項の取組と成果

（１）サービスの質の向上

① コロナ禍による ADL 低下を予防する為、専門職同士(リハビリ、相談室、看護師)との連携を強化し個別ケアに取り組みました。

② 毎月の入居者懇談会では、専門職からの健康講話(転倒予防、口腔講話、衛生面)を開催しました。また、入居者の意見、要望を聞き取り心地よく過ごしてもらえるよう対応しました。

③ リビングやラウンジへ観葉植物の設置。バルコニーでは、お花の手入れなど、入居者と癒しの空間作りをしました。

④ 見守り支援システム「眠り SCAN」を活用し入居者に合わせたシステムの調整を行い、個々に合ったケアを提供し、睡眠の質を確保しました。

⑤ 入居者様の要望に応え、カラー染めやパーマでおしゃれを楽しめるように、定期的に訪問理美容を導入しました。

（２）職員の資質向上

① 入居者への支援方法に差が出ないよう、業務マニュアルを作成し、質の標準化、業務改善、入居者の統一したケアを目指しました。

② リハビリ専門職と連携し、個々に合わせた福祉用具の選定、使用方法の修得を目指しました。

③ 委員会主催の研修（オンライン研修、対面研修、紙面含む）など活用し職員の資質向上に努めました。

（３）新型コロナウイルス感染状況

① 感染フェーズに合わせた施設感染対策マニュアルを作成した。

② 施設感染マニュアルに沿って適正なタイミングで抗原検査等を行い、感染拡大防止に努めた。

③ 感染確認時は、感染ルート、接触者等を特定、隔離対応期間などがわかるよう情報共有、周知体制作りに努めた。

④ ガウンテクニック、スタンダードプリコーション等実施レベルが不十分な職員に対し適宜、個別指導を行った。又有事のユニットへの集団指導（再確認中心）も実施。

⑤ 衛生物品の在庫管理を行いました。また、衛生備品確保できるように、複数の取引業者を確保しました。

（4）行事

	行事	備考
10 月	敬老会	節目の祝い者には、ご家族へお祝いのメッセージカードを依頼しプレゼントをしました。
11 月	焼き芋	本格的な焼き芋器で入居者と秋の味覚を楽しみました。
1 月	新年会	入居者の三味線に合わせ職員も踊り盛り上げました。
2 月	ドライブ（花見・野球観戦）	八重瀬公園までドライブを兼ね花見に行きました。セルラースタジアムへプロ野球観戦に出かけました。

※他、誕生月には誕生会を開催

3．特定有料老人ホームサービス提供実績

（1） 年間平均実績

- 稼働率　93.8 %
- 平均介護度　2.9

月 / 項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計・平均
稼働率(%)	88.8	90.0	89.4	92.0	93.3	95.8	96.6	95.7	96.7	95.7	96.7	95.8	93.8%
入院日数	60	58	51	14	2	14	0	7	21	9	30	6	272
平均介護度	2.9	2.9	2.8	2.8	2.9	2.9	2.9	2.8	2.9	3.0	3.0	2.9	2.9
要介護 1	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	
要介護 2	6	6	7	7	6	6	7	8	8	9	8	8	
要介護 3	9	8	7	8	8	9	9	8	7	5	6	6	
要介護 4	7	8	7	8	8	7	7	7	7	6	6	5	
要介護 5	1	1	1	1	2	2	2	2	3	5	5	5	
入所者計（月末）	30	30	29	30	30	29	30	30	30	30	30	30	
新規入所者計	1	0	0	1	0	0	1	1	0	1	0	1	6
退所者計	1	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	1	6

※入院日数については入院日、退院日を含まない

（２）　体験利用室実績

- 平均実績 75.3%

月 項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計・平均
稼働率(%)	135.0	59.7	38.3	53.2	80.6	71.7	67.7	88.3	71.0	83.9	75.9	79.0	75.3%

（３）　算定加算一覧

- 要介護認定

【共通加算】

加　算
特定施設夜看護体制加算
特定施設個別機能訓練加算Ⅰ
特定施設個別機能訓練加算Ⅱ
特定施設サービス提供体制加算Ⅲ
特定施設医療連携加算
特定施設処遇改善加算Ⅰ
特定施設等特定処遇改善加算Ⅱ
特定施設科学的介護推進加算
ADL 維持等加算Ⅰ
口腔衛生管理体制加算
介護職員等ベースアップ等支援加算

【対象者のみ】

加　算
口腔・栄養スクリーニング加算
看取り介護加算Ⅰ（72 単位/日）
看取り介護加算Ⅰ（144 単位/日）
看取り介護加算Ⅰ（680 単位/日）
看取り介護加算Ⅰ（1280 単位/日）

- 要支援認定

【共通加算】

加　算
予防特定施設個別機能訓練加算Ⅰ
予防特定施設サービス提供体制加算Ⅲ
予防特定医療連携加算
予防特定施設処遇改善加算Ⅰ
予防特定施設等特定処遇改善加算Ⅱ
予防特定施設科学的介護推進加算
口腔衛生管理体制加算
介護職員等ベースアップ等支援加算

【対象者のみ】

加　算
口腔・栄養スクリーニング加算
看取り介護加算Ⅰ（72 単位/日）
看取り介護加算Ⅰ（144 単位/日）
看取り介護加算Ⅰ（680 単位/日）
看取り介護加算Ⅰ（1280 単位/日）

（４）　有料サービス状況及び実績

（単位：回）

項目＼月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
生け花	9	9	11	10	8	8	10	11	10	9	10	10	115
書道	6	5	4	6	7	6	6	4	7	12	7	6	76
手工芸	6	0	7	0	0	12	0	0	0	0	0	15	40
フェイシャルエステ	5	12	12	6	7	8	12	8	7	10	9	9	76
マッサージ	3	4	5	1	8	11	4	5	2	5	8	4	60

（５）　年齢構成

	64 歳以下	65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85～89 歳	90～94 歳	95～99 歳	100 歳以上	合計	平均年齢
男性	0	1	1	0	0	2	1	1	1	7	86.3
女性	0	0	0	0	2	3	13	4	1	24	87.7
合計	0	1	1	0	2	5	14	5	2	30	87

（６）　入居期間

	1 年未満	3 年未満	5 年未満	10 年未満	15 年未満	合計	平均入居期間
男 性	2	1	2	2	0	7	3 年 0 ヶ月
女 性	5	4	6	6	2	23	3 年 9 ヶ月
合 計	7	5	8	8	2	30	3 年 4 ヶ月

（７）　日常生活動作状

日常生活動作		男　性	女　性	合　計
移動手段	独歩・手引き歩行を含む	2	2	4
	杖・歩行器・シルバーカー	3	5	8
	車椅子	2	16	18
食事	自立	6	14	21
	一部介助	1	4	5
	全介助	1	4	5
	経管・胃瘻	0	0	0
排泄	自立	3	10	13
	トイレ使用	2	2	4
	トイレ/おむつ併用	2	5	7
	おむつ使用	1	5	6
入浴	個人浴槽	1	0	1
	特殊浴槽（シャワーチェアー）	5	17	21
	特殊浴槽（ストレッチャー）	1	6	7

（８）　機能訓練主な訓練内容

- 生活リハビリ(日常生活動作、家事作業等)マッサージ（ほぐし）
- 関節可動域訓練（白樺体操他）動作訓練(座位姿勢の調整、座位保持訓練、歩行訓練)
- 作業療法(手作業）・ 嚥下訓練（口腔体操・発声音楽療法)
- 集団体操週４回実施。発声と短期記憶を意識してもらえる声掛けを行う。その他レクレーション、季節に応じた手工芸を実施。
- 週１回転倒予防のため、立位で行う下肢運動や応用歩行日を設け、足指グーパー体操、靴の履き方等日々の注意点を声掛け中。重介護の方へは拘縮予防、ケガ予防のためのリフト移乗やその他の福祉用具の指導を行う。

（9）　健康管理

項　目	内　容
健康管理	バイタル測定（入浴前、訴え時、状態変化時、不安定期)、 嘱託医指示の医療行為実施。入・退院・受診対応 急変時救急対応、定期薬の分包・管理
健康診断	回診 2 回/週（火曜日・金曜日）嘱託医 定期検診（3 月・9 月前後に 2 回／年）入所時検査（必要時）
医学管理	在宅酸素療法、喀痰吸引、点滴、バルーン留置管理 、採血、経管栄養管理、N チューブ交換、処置全般、抗原検査実施
医療機関との連携	主治医・地域連携室との電話等による状況報告、指示による医療処置及び搬送調整
予防接種	新型コロナウイルス予防接種（本年度は 6 回目と 7 回目の実施） インフルエンザ予防接種（10 ～11 月利用者様、11～12 月職員）
褥瘡対策	褥瘡発生リスクが高い方については多職種連携しアセスメント必要な予防対策の実施
看取り対応	3 名
緊急時対応	夜間オンコール対応回数：20 回（うち夜間出動回数 6 回）

（１０）受診状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
内科	59	68	60	55	53	84	64	58	67	64	65	81	778
整形外科	0	7	1	4	4	1	0	1	2	1	3	2	26
皮膚科	10	3	1	28	17	10	4	3	12	9	3	4	104
歯科	5	4	4	4	3	8	3	4	4	3	4	4	50
泌尿器科	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	13
その他受診	0	0	0	1	1	0	2	1	0	0	0	0	5
月受診合計	75	83	67	93	79	105	74	68	86	78	76	92	976
うち救急車搬送	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	4

（１１）入院状況

区分	入院期間	疾患	日数
1	3/1～6/14	右大腿骨転子部骨折	73 日
2	3/6～～5/1	腰椎圧迫骨折	30 日
3	5/6～7/14	腰椎圧迫骨折後、痛み増強	68 日
4	8/30～9/14	尿路感染症・腎盂腎炎	14 日
5	11/24～12/13	慢性心不全	18 日
6	12/24～1/9	尿路感染症	15 日
7	2/5～2/22	右大腿骨頚部骨折	16 日
8	2/19～2/29	肺炎	9 日
9	2/29～3/7	逆流性食道炎	6 日

※入院日数については入院日、退院日を含まない。

通所介護　嬉の里デイサービスセンター

１.総括

令和５年度の嬉の里デイサービスセンターの目標を「みんなで作る快護計画」と掲げて、職種間で情報共有し、ご利用者様の支援を行いました。

取り組みとして、ご利用者様へ満足度アンケートの実施、職員の配置や業務内容の改善、生活相談員業務内容の見直し、生活リハビリポイントカード開始、LIFE の周知等が行えました。

令和５年５月から新型コロナウイルス感染症が「5 類」に移行となり、ご利用者様、ご家族様の新型コロナウイルスに対する認識、捉え方に違いがあり戸惑う事もありましたが、ご理解、ご協力を頂き感染を最小限に止めることが出来ました。

2025 年には団塊の世代が 75 歳以上となり、急速に介護を必要とする割合が増えます。

その為、団塊の世代の方の幅広いニーズを見据えて、新たにコンセプトを打ち出し、環境・インテリア・接客・くつろぎ・活動・感動の 6 つのキーワードをブラッシュアップするように取り組んでいきます。

２．重点実施事項の取組と成果

（１）　サービスの質の向上

①　食支援室コラボ企画（四季に合わせた活動)、ビューティーケアコラボ企画（地域公民館等で実施しているエステ等）を毎月実施しました。

②　生活リハビリポイントカードを作成し前向きに生活リハビリ(食器洗い、タオルたたみ、巧緻訓練等)に参加できるように、一工夫しています。ポイントが貯まると嬉の里ソナーレカフェのコーヒー＆ケーキやスペシャルエステ券などをプレゼントしました。

③　新型コロナウイルス感染症が 5 類移行、飛沫感染予防のパーテーションを撤去し、利用者同士交友や会話を含めたレクリエーション、ドライブなど活動が活発になりました。

④　アンケート（利用満足度・ニーズ）を 1 月に実施しました。アンケートはＱＲコードを活用しましたがアンケート回収率が低くかった為、再度、利用者様個々にアンケート回答を頂きました。特に多かった要望は「ドライブを増やして欲しい」「カラオケがしたい」などがあり活動に取り入れる事ができました。

⑤　LIFE（科学的介護情報システム）をご利用者毎に職員担当制を作成し、全職員 LIFE 入力が可能となりました。

（２）　職員の資質向上

①　認知症に対する知識、技術、対応力の向上を図るため、認知症介護基礎研修を受講し介護職員１名が修了証を取得しました。

②　法人の委員会主催研修（オンライン研修、対面型研修、紙面含む)、沖縄県施設支援グループ主催研修、社会福祉協議会主催外部研修など活用し職員の資質向上に取り組みました。

③　交通安全指導研修を開催し事故の防止、安全意識を高めました。

（3）　地域貢献・地域連携

①　沖縄リハビリテーション学院へ介護職員を外部講師として派遣しました。

（4）　新型コロナウイルス感染５類移行の対応について

①　感染症委員会は継続的に毎月活動を行い6月と 12 月の 2 回研修を開催し、新型コロナウイルス感染症の予防対策や改善策について協議しました。

②　利用者には自宅での検温、体調確認の協力依頼と乗車前の体調確認でダブルチェックを行いました。利用者やご家族、職員の健康管理を行うことで、感染拡大予防に努めました。

3.サービス提供実績

（1）　サービス提供実績（定員 35 名）

月 項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
営業日数	25	27	26	26	24	25	26	26	26	24	25	26	305
延べ人数	716	797	630	684	644	741	742	781	805	729	724	744	8,737
1日平均 利用者数	30	30	24	26	25	28	28	28	31	30	29	29	28
平均介護度	2.2	2.3	2.0	2.2	2.2	2.3	2.2	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.3

（2）　算定加算

【要介護】

- 入浴介護加算Ⅰ・・・・・・・・・40 単位/1 日につき
- 個別機能訓練加算Ⅰイ・・・・・・56 単位/1 日につき
- サービス提供体制強化加算（Ⅰ）・・22 単位/1 回につき
- 科学的介護推進加算・・・・・・・40 単位/1 月につき
- 介護職員特定処遇加算Ⅰ・・・・・所定単位数の 12/1000
- 介護職員処遇改善加算（Ⅰ）・・・・所定単位数の 59/1000
- 介護職員等ベースアップ等支援加算・・所定単位数の 11/1000

【要支援　日常生活支援総合事業】

- ○運動機能向上加算 225 単位/1 月につき
- ○サービス提供体制強化加算（Ⅰ）・・
  対象者：要支援 1（88 単位/1 月につき）対象者：要支援 2（176 単位/1 月につき）
- ○科学的介護推進加算・・・・・・・40 単位/1 月につき
- ○介護職員特定処遇加算Ⅰ・・・・・所定単位数の 12/1000
- ○介護職員処遇改善加算Ⅰ・・・・・所定単位数の 59/1000
- ○介護職員等ベースアップ等支援加算・・所定単位数の 11/1000

（3） 日常生活動作状況

日常生活動作		男 性	女 性	合 計
移動手段	自立（手引き・杖使用を含む）	16	30	46
	歩行器・シルバーカー	4	3	7
	車椅子	3	14	17
食事	自立	16	33	49
	一部介助	7	4	11
	全介助	0	1	1
	経管・胃ろう	0	2	2
排泄	自立	4	15	19
	トイレ使用 （一部介助）	14	16	30
	トイレ/おむつ併用 （介助）	5	14	19
	おむつ使用	0	2	2
入浴	個人浴槽	0	0	0
	特殊浴槽（シャワーチェアー）	19	26	45
	特殊浴槽（ストレッチャー）	0	1	2

（4） リハビリ活動報告

生活リハビリ、マッサージ（ほぐし）、 関節可動域訓練、日常生活動作訓練(座位姿勢の調整、座位保持訓練、歩行訓練）筋力運動、屋外歩行訓練、平行棒（体操、立ち上がり） 口腔体操・発声音楽療法 外出買い物支援、プロ野球観戦、海岸砂浜歩行訓練

（5） 行事 ・レクレーション

月	行 事	月	行 事
4 月	お花見 ・ドライブ	10 月	運動会
5 月	母の日会（パフェ会）	11 月	焼き芋会
6 月	父の日会（屋台）	12 月	クリスマス会・料理会（きのこ丼）
7 月	千尋会夏祭り	1 月	書初め・料理会 （コーヒー挽き・ちんすこう）
8 月	夏祭り（スイカ割り）	2 月	ドライブ（花見）・バレンタインデー
9 月	敬老会	3 月	ホワイトデー・料理会・ ビューティーケア

※誕生月には対象者の好みに合わせたプレゼントを贈りお祝いをしました。

※季節ごとに壁画作りなどを利用者と一緒に作成しました。

（6）　健康管理

項　目	内　容
日常の健康管理	血圧測定、脈拍測定、検温（入浴前、訴え時、不活発時、不安定期）、酸素飽和度測定、必要時、情報提供作成、受診後の情報共有
服薬管理	薬剤情報管理、服薬介助、軟膏塗布
医学管理	在宅酸素療法、喀痰吸引、胃ろうの処置の援助
医療機関との連携	主治医との電話等による状況報告、指示による医療処置及び搬送調整
予防接種	新型コロナウイルス予防接種　有無確認。 インフルエンザ予防接種　有無確認。
褥瘡対策	日常在宅で考えられる看護処置、褥瘡に対しては栄養状態、適切な処置により治癒促進を図る。褥瘡のある場合は家族、主治医と連携し処置を行う。
口腔ケア指導	義歯の有無、食後の口腔ケアチェック、歯ブラシの清潔チェック、口腔ケア困難事例講習（歯科衛生士より指導）
緊急時の対応	家族へ連絡し救急搬送を行う。

居宅介護支援事業所 嬉の里

1. 総括

コロナ禍が続き、高齢者が不活発な生活や自宅で過ごすことが増えたことで、地域包括支援センターから心身機能低下を防ぐことを目的とした介護相談、担当依頼が増えましたが、相談者と本人の思いが合わず、相談のみで終了するケースが多くありました。

令和5年11月より居宅介護支援専門員を3人体制となり、新規依頼、担当引継ぎにも迅速に対応しています。(特定事業所加算Ⅲ算定)

令和5年4月から田崎グループ在宅系部門連携会議が発足し居宅、通所部門の連携が強化され要援護者支援をスムーズに行い、在宅生活支援に取り組んでいます。

2．重点実施事項の取組と成果

（1）利用者や地域のニーズに対応した質の高いケアマネジメントの推進及び社会貢献

- 地域にある社会資源の情報を把握し事業所内で定期的な情報伝達会議の開催にて共有し、利用者へのケアマネジメントに活かしました。
- 認知症やカスタマーハラスメント、ヤングケアラー世帯、ターミナルケアについての対応力向上のため、研修や勉強会に参加しました。
- 業務内での気づきや指導を通して、業務の見直しを行いました。業務手順や必要書類等の再確認と共有を事業所内で行い、個人情報使用同意書を一部見直しました。

（2）リスクへの対応力強化

- BCP（業務継続計画）に沿って訓練を行いました。独居利用者の安全確保、避難経路の把握、避難方法など課題を確認出来た。
- 沖縄県等が開催する「沖縄県介護支援門員スキルアップ研修」BCP作成研修に積極的に参加しBCP作成の参考、見直しに繋げました。

３．サービス提供実績

（１）　担当件数と算定加算

- 【要介護認定】

（単位：件）

月 項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
要介護１	10	13	10	10	9	9	10	10	10	13	13	13	130
要介護２	10	10	12	13	12	12	10	10	11	11	16	14	141
要介護３	3	2	2	3	4	4	5	5	6	6	4	4	48
要介護４	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	3	17
要介護５	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	14
初回加算	2	0	1	2	0	1	1	1	5	2	1	2	18
退院退所加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
入院時情報連携加算	0	1	0	0	0	1	1	1	0	2	1	0	7
ターミナルケア加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通院時情報提供加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定事業所加算Ⅲ	0	0	0	0	0	0	0	0	30	37	37	35	139

- 【要支援認定　総合事業対象者】

（単位：件）

月 項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
介護予防ｹｱﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4
介護予防支援	2	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	3	18
初回加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
委託連携加算	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	3

（２）　ケアマネ毎の月の担当件数数

月 担当 CM	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
A	26.5	28	27	28.5	27.5	27.5	27.5	29.5	29.5	28.5	27	25
B	0	0	0	0	0	0	0	1	4.5	6.5	8.5	7.5
C	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	6.5	6.5
嬉の里居宅全体合計担当計	26.5	28	27	28.5	27.5	27.5	27.5	30.5	35	38	42	39

※要支援、総合事業認定者は、0.5